

[ダーナ]

Dāna

ダーナ●第5号

発行日●平成14年12月20日

編集・発行●浄土宗平和推進協議会

「ダーナ」とはサンスクリット語で、「布施」の意。

特別
座談

アジアから学ぶ、世界の「共生」。

——「慈悲の社会化」を目指す仏教NGOの活躍——

出席●川副春海 師（浄平協新事務局長、佐賀教区専称寺）

枝木美香さん（NPO法人アユース仏教国際協力ネットワーク事務局）

浄土宗平和推進協議会（略称・浄平協）が初めて取り組む、カンボジアのスタディツアーが、平成15年2月に実施されます。6年にわたって支援してきた、NGO「シェア＝国際保健協力市民の会」の現地活動を視察、国や民族の違いを超えた世界の「共生」について体験的に学びます。

スタディツアーを前に、新たに事務局長に就任した川副師と、浄平協の支援事業を担当するアユースの枝木さんに話し合っていました。（文責／編集部）



仏教NGO ネットワーク誕生

川副●仏教NGOのネットワークができるそうですね。

枝木●はい。シャンティ国際ボランティア会（前曹洞宗国際ボランティア会）を中心に、私たちアユースを含む4団体が呼びかけ人と

なって、平成15年1月に正式に発足の予定です。

川副●キリスト教にはあったけど、仏教のNGOの横のつながりというのは、なかったですね。

枝木●仏教のNGOも個々の活動は活発になっていますが、全体として大きな力になっていない。宗派は違っても、「慈悲の社会化」を願う心は同じなのだから、相互に交流しながら、ネットワーク活動

を進めていくのが目的です。もちろん、伝統教団の国際協力機関にも呼びかけていきたいので、浄土宗平和推進協議会（略称・浄平協）にもぜひご参加いただきたいですね。

川副●また、地域で独自の活動に取り組む仏教者にも呼びかけていくということですが、裾野が広がりますね。

枝木●アユースを通じて、いろいろ

特別 座談

川副師



平成14年9月より浄平協の新しい事務局長に就任。佐賀教区・専称寺住職。アジア体験に富み、NGO活動にも詳しい。著書に「仏教ことば博物館」他。

ろな仏教者の活動にふれてきましたが、まだ活動自体が社会に十分開かれていない。お坊さんや檀家さんには馴染みはあっても、市民社会から見ると、まだ遠い存在なんです。でも、その中にはいくつもの、社会のムーブメントとして提

案できるものがあります。ネットワークが端緒となって、仏教の社会的な役割づくりに貢献できたら、素晴らしいと思います。

「貧しさ」から 人間らしさを学ぶ

川副●カンボジアは長く内紛の時代がありましたね。

枝木●そうですね。抑圧されてきた歴史があり、人々は精神的にまだ完全に解放されきっていない、と思います。でも、だんだん改善も進み、これから新しい社会をつくっていくという若々しい気運も感じます。

川副●平成15年2月、浄平協として初めて、カンボジアのスタディツアーが行われます。

枝木●有名なアンコールワットで知られるように、カンボジアは敬虔な仏教の国です。同じ仏教徒どうし、感じあうものも多いと思います。

川副●現地では、NGOの活動を見学するんですね。

枝木●はい。浄平協に支援いただいているシェアの現地の活動をご覧いただきます。シェアは日本の

医療・保健のNGOで、過去6年にわたって、継続的な支援をいただいています。今回は、首都プノンペンから50キロ北にあるスレイセントー地区の農村におけるプロジェクトの現場を見学していただきます。

川副●農村見学とは、一般の観光旅行とは違う、発見があるでしょうね。

枝木●カンボジアの農村は、徐々に改善は進んでいますが、まだ圧倒的に生活のインフラが整備されていない。日本から見ると不便極まりないところ。でも、それが無いから、逆に人と人の助け合いや支えあいがつよいものになっていく。制度やサービスに頼るだけでなく、自分たちの人間関係を通して、生活の質を上げていく。それって、昔の日本にもあった関係だと思えるのですが。

川副●日本とは比較にならないほどの「貧しさ」だけど、じつはそこから人間として学ぶことがたくさんある。アジアでNGO活動を経験した多くの日本人が気づいたことでしょうね。

枝木●ひとりでは何もできないけど、みんなとならできる。村の人といっしょに生きることで、人間同士の信頼感や連帯感が生まれる。「協働」の喜びですね。

ひょうがもゆう 「兵戈無用」の 精神を

川副●「協働」とは、仏教の「共生」と同じ意味でしょう。共生のための習合を繰り返してきたアジアの仏教の立場から見ても、NGOとはすごく近いものを感じます。いや、かつての仏教寺院こそNGOの原点なのかもしれない。法然上人は、お念仏の身体感覚を強調





されました。それは念仏者として、現代においてどう行動し、参加するか、ということでもあるでしょう。阪神淡路大震災の時に、100万を超える人々が現地を目指したのと同じように、すべての国際協力活動は、まず現地の人や暮らしに学ぶところから始まるのだと思います。

枝木●今後の浄平協は、どんな展望をお持ちですか。

川副●4年に一度の役員交代の時期で、私を含め40歳代の若い方々が役員に就任しました。お念仏のここを平和や国際貢献に活

かすあり方を、模索していきたいと思っています。また、NGO支援を通じて平和に貢献するユニークな「聖日献金」というありがたい枠組みがある訳ですから、これを充実したいですね。全国のご寺院様のご理解を得て、毎年募金額が

増えているようですし、昨年度は合計約120万円を4つの団体に交付することが出来ました。委員会制度などを設けて組織を活性化したり、若い方々にアピールできるような浄平協の新しいニックネームをつけることも検討されています。また浄土宗の方で検討されております「世界平和念仏の日」にも協賛して、「兵戈無用」(無量寿経)の精神を、ぜひかたちあるもの出来ればと考えています。

枝木●これからの活動に期待しています。



枝木さん

仏教NGOの代表格、アユス仏教国際協力ネットワーク事務局員。シェアのスタッフとして、2年間のタイ駐在体験も持つ。カンボジア・スタディツアーの企画も担当。

法然上人のお命日を期して。
毎月25日を「世界平和念仏の日」と制定

浄土宗門主中村康隆猊下が提唱。

1141年3月19日、1945年8月6日、同年8月9日、わが国・日本において何が起ったか。浄土宗の世界平和への取り組みは、ここから出発する。

保延7年春、法然上人の父時国は、明石定明の夜襲にあつて負傷し、「汝さらに会稽の恥をおもひ、敵人をうらむことなかれ、云々」と遺言して世を去った。法然上人が出家の契機となったこのできごとは、万民救済のお念仏の教えを確立するに至った起因である。

昭和20年盛夏の広島と長崎に原子爆弾が投下され、世界唯一の被爆国となった日本こそ、世界平和の先導者とならなければならない。

そこにおいて、浄土宗は「21世紀劈頭宣言」を基調に、法然上人ご入滅の1月25日に因み、毎月25日を「世界平和念仏の日」と定め、宗門、国民及び世界の人々に時を同じくして合掌念仏し、願共往生の精神を強く、深く推し進めるとともに、洪鐘による正覚大音、響流十方を實踐するものである。

また、既に浄土宗が表明している世界平和への取り組みは、「兵戈無用」(仏説無量寿経)によるものであり、この「世界平和念仏の日」を恒久的に継続することが肝要である。

非暴力、世界の平和を念じ、同時にお念仏を……

Support Report

浄土宗平和推進協議会(以下浄平協)が毎年支援を続ける日本のNGO[シェア＝国際保健協力市民の会]は、1983年創設された、医療保健のNGO。草の根の立場から行動を起こした医師や看護婦・学生が中心となり、「すべての人々が基本的な保健医療サービスを受けられるようになること、そして健康づくりが地域の人々自身の活動になること」を活動の使命としています。

88年よりカンボジアにおける母子保健活動を開始、98年から現在のコンポンチャム県スレイセントー郡で地域保健プロジェクトを行っています。正しい保健衛生の知識を伝え、村人とともに生活環境を改善してゆく。シェアの活動の一端をご紹介します。

「シェア＝国際保健協力市民の会」

いのちの教育をありがとう。
カンボジアのお母さんへ、保健教育のいま。

——そもそも、シェアがカンボジアで保健活動を始めたきっかけは。

80年代のポルポト政権の時代に起った、カンボジア難民の医療救援活動が原点です。

88年から日本ボランティアセンターと協同でプノンペン郡での母子保健活動を始め、92年からは独自のプロジェクトを進めています。

医療活動や保健活動が不十分なくつかの地域を選んで、日本人と現地のスタッフが協力して当たっています。



——なぜ、カンボジアで母子保健の活動を始めたのですか。

ユニセフの子ども白書を見ても、アジアの中でもカンボジアの乳幼児の死亡率は突出しています。5歳児未満の子ども1000人のうち163名(98年調べ)が、また出生10万人あたりの妊産婦の死亡率も473人と非常に高くなっています。

その背景はもちろん保健システムが未整備であったり、保健スタッフの技術レベルが低いこともあります。それ以外にも長く続いた内戦や政治対立、経済、生活環境など複雑な要因が絡み合っています。

ようやく平和と安定の時代を



浄平協の「聖日献金」は、世界のこんなところで活用されています。——浄平協が支援するその他のNGO

迎えたいまだからこそ、カンボジアのお母さんや子どもたちに健やかに育ってほしい。その願いから、私たちの活動は出発しました。

——実際に現地においてどんな活動をしているのですか。

シェアは、現在プノンペンの北東50キロの農村地帯で、地域の人々による健康な村づくりを目指し活動をしています。スタッフは日本人2人を含む13人。

村のお母さんたちを対象にした、家族と自分の健康を守るための保健教育や、伝統助産婦に対する安全な出産介助の方法や危険信号の見分け方、妊婦のケアについてのトレーニングなどを実施しています。

その成果ははなばなしのものではありませんが、安全な知識や技術を学んだお母さんが、これからの保健衛生を自分たちの手で改善していってくれることを確信しています。

——浄平協の支援金はどんな風に活用されているのですか。



シェアはひとつの地域で永続的に活動が続けることが目的ではありません。地域の人々が自立していくためにも、現地の人材の養成はたいへん重要です。

浄平協からいただいた支援金は、シェアのカンボジア人スタッフのひとり、シェン・ペウという男性の人件費として活用させていただいています。

彼は村の人気者、知識も経験も非常にしっかりしていますから、村人の受け入れもスムーズに運びます。その結果、地域の自立につながっています。

——今後シェアのカンボジアにおける活動の展望を聞かせてください。

今、アジア、アフリカなどの途上国を中心に、エイズが深刻な社会問題となっています。カンボジアでもエイズ感

パレスチナ子供のキャンペーン

パレスチナの子どもたちへの人道的支援を続けるNGO。ガザ地区のアトファルナろう学校における障害児教育を支援しています。

日本国際ボランティアセンター

地域住民の自立を目指した農村開発等を進めるNGO。ラオス各地で、自然農法の研修やトレーニング、教材づくりを支援しています。

反差別国際運動

世界から差別撤廃を目指す国連NGOのひとつ。グアテマラの先住民に対する識字教育を支援、平和の意味と価値を伝えています。

染者が増えており、シェアも地域保健に加えてエイズへの取り組みも始めました。



具体的には、エイズ感染予防のために学校を中心にエイズ教育を行うことと、すでに感染してしまった人々やその家族への、医療的、精神的な支援活動です。

そのために、村びとの中からヘルスボランティアを養成し、彼らがエイズ患者の家庭訪問を行います。今後はこの家庭訪問活動を、さらに活発にしていきたいと思います。

聖日献金協力者名簿

(平成13年4月1日～14年3月31日分／順不同・敬称略)

聖日献金にご協力いただきました方へ、紙面を借りてお礼申し上げます。

- [北海道第一]
大願寺・神谷英敏
善通寺(中央)
満岡寺・飯島英徳
仙海寺・及川勝芳
元室蘭仙海寺
聖光院(室蘭)檀信徒
- [北海道第二]
大成寺・藤井乗亮
浄土寺・渡部徳史
報恩寺(西)
長専寺(南)
長専寺・高橋宗憲
菩提寺(南)
阿弥陀寺(南)
芦別寺・杉浦定善
大林寺(北)
大林寺(北)檀信徒
太田正子
- [青森]
西福寺(弘南)
願昌寺(北)
善導寺・秋谷龍導
大善寺(北)
称光寺・三上良淳
照蓮院(北)
正覚寺(東青)
玉泉寺・山内俊導
玉泉寺・山内俊子
玉泉寺・山内仁導
玉泉寺・山内美奈子
玉泉寺・山内 凜
玉泉寺・山内 蓮
玉泉寺・山内 開
寶国寺(西北)
十王院・高橋絃宇
平安寺・葛西満永
- [岩手]
浄願寺(気仙)
莊厳寺(気仙)
- [秋田]
延命寺・近藤唯義
本念寺(県南)
本誓寺・東山大鎮
- [山形]
常念寺・渥美正光
実相寺(山形)
梵行寺・長澤明好
安養寺(下)
乗船寺・安達良昭
常念寺・渡辺成就
宝樹院(酒田)
- [宮城]
善導寺・山村正樹
成覚寺(第二)
愚鈍院・中村真道
西光寺・樋口隆信
専興寺・奥山清基
無量寿庵(第五)
往生寺・豊嶋瑞俊
- [福島]
最勝院・阿部敏信
心光寺・宗川大洋
梅松寺・井上三雄
西念寺・大島浄照
蓮家寺(中央)
安楽寺・和田俊道
- 常宣寺・蓮沼俊紀
融通寺(会津)
- [群馬]
龍光寺(高崎)
永心寺・見沢清芳
浄泉寺(藤岡)
善福寺・天野靈道
宗本寺(吾妻)
源空寺(前橋)
長念寺・稲村博道
大圓寺(太田)
浄運寺・野口善教
西福寺(桐生)
善導寺(南)
神光寺(館林)
光源寺(高崎)
- [栃木]
法玄寺・和田幸信
徳正寺(足利)
吞龍寺(晃北)
宝竜寺(佐野)
照光寺(下都賀)
如来寺・桑門秀光
法蔵寺(晃北)
光琳寺・井上廣雄
常念寺・福田達雄
- [茨城]
清嚴寺(水戸)
西方寺・福田秀雅
照光寺(霞北)
莊嚴寺・古屋吉雄
法門寺・永田紀秀
廣大寺(絹)
隆岩寺・小村隆英
菊蓮寺(水戸)
引接寺・安西弘志
- [埼玉]
正圓寺(第一)
浄円寺・石村豊龍
大経寺・柴 厚人
浄音寺・野村島成道
聖福寺・今井康隆
神宮寺・本間秀道
正光寺・岡本準光
平源寺(第三)
勝願寺(第四)
浄恩寺(第四)
源光寺・里見義弘
長島善光(一般)
- [東京]
天光院(芝)
妙定院・小林正道
興昭院・榊 泰純
西應寺・北條浄善
清林寺(城南)
實相寺(城南)
願海寺・森部義範
最上寺・細美隆光
戒法寺・長谷川岱潤
清岸寺・吉田真空
専念寺(城西)檀信徒
西光庵・栗井真教
清岸寺・原口正弘
浄土寺(城西)
高德寺・矢田修真
善光寺・川名観恵
長安寺(城西)
延命寺(城西)
宗慶寺・本多浄道
- 一行院・八木季生
正受院・正村瑛明
善光寺・小野静雄
正覚寺・安孫子慶悦
長専院・正本乗光
靈山寺・内田泰之
靈光院(江東)
大雲寺(江東)
明福寺(江東)
法林寺・大谷泰彦
宗円寺・杉山弘信
聖徳寺・松本賢香
源空寺・角岡隆壽
得生寺・入西勝彦
善徳寺・大谷豊彦
九品寺(北部)檀信徒
尾崎眞一
神田将範
遠藤幸子
中野淳子
後藤弥生
後藤遵平
稲貝尚志
澤田公男
浄正寺(北部)
満光寺(北部)
回向院(北部)
西光寺(北部)
西門寺・島崎義宣
浄光寺・大島文夫
正安寺・田丸嶺信
瑞正寺(北部)
祐天寺(玉川)
大音寺(玉川)
浄眞寺(玉川)
大吉寺・成田昌憲
慶岸寺・佐藤辨正
円覚寺(玉川)
極楽寺(八王子)
潮音寺・藤井亮弘
宗福寺(七島組)
神田寺・友松浩志
澤 須美夫(一般)
松崎利子(一般)
- [千葉]
法傳寺(葛南)
東明寺・鈴木隆善
泉水寺(君津)
心巖寺・加藤達也
勝隆寺・中川大倫
浄蓮寺(安房)
大勝院(安房)
浄正寺・上原信道
圓福寺・高橋弘道
大念寺・大島祥明
- [神奈川]
寿福寺・伊藤光史
大徳寺・加藤光成
教安寺・野呂幸忍
大光院(京浜)
三佛寺(港南)
無量寺(港南)
大誓寺(港南)
本願寺(高座)
常光寺・野口和泉
西蓮寺・坂野泰巨
眞福寺・安井昭雄
長安寺・玉木弁立
光照寺(三浦)
十劫寺・吉水 温
清岩寺(中郡)
正安寺・酒井侑成
- 大宝寺・佐々木洋之
道場院・都築融光
西念寺(小田原)
春光院・石川邦雄
- [新潟]
来迎院(高田)
浄土寺(柏崎)檀信徒
川又昌延
浄土寺(柏崎)
法蔵寺(長岡)
常念寺(佐渡)檀信徒
王崇寺(高田)
- [富山]
浄土寺・小島寿孝
大楽寺(水波)
大念寺(水波)
来迎寺・越戸覺成
- [長野]
西迎寺(高内)
善法寺(更埴)
興正寺(更埴)
宗林寺・山下徹静
瑠璃光寺(松本)
正願寺・宮澤説雄
貞松院(諏訪)
極楽寺(諏訪)
光福寺・横井文芳
- [静岡]
海福寺・瀧澤廣運
教安寺・船 博之
浄信寺(東豆)
浄円寺(東豆)
天然寺・秋山秀光
天然寺(南豆)
願成寺(北豆)
華陽院・堀田卓爾
宝台院・野上智徳
光心寺(西駿)
光心寺婦人会
常照寺・松永有宏
貞照院(西駿)
定明寺(西駿)檀信徒
鈴木康博
- [三河]
普仙寺(豊橋)
源立寺(豊橋)
最勝院・神谷嘉則
最勝院(豊川)
三光院・川口善祐
西岸寺・早川円浄
大樹寺・中村良観
称念寺・加藤実現
法雲寺・水谷浩志
福壽院(豊田)
光明寺(豊田)
阿弥陀院・上村玄雅
誓満寺(碧海)
遍照院(碧南)
法城寺(碧海)
安藤和夫(檀信徒)
- [尾張]
伝光院(名古屋)
寿林寺・坂野光彦
西蓮寺・橋本知之
瑞宝寺(名古屋)
撰取院・石黒将嗣
浄土院・児玉尚文
浄土院(名古屋)檀信徒
- 宮坂いち
加藤 博
蒼竜寺(城南)
西方寺・深谷孝玄
西方寺・深谷雅子
西方寺(城南)
金蔵寺(尾西中)
貞壽寺・望月真誠
蓮台寺・小沢正眞
梅村邦昭(一般)
梅本尚美(檀信徒)
- [伊勢]
照源寺(桑名)
金剛寺(四日市)
南龍寺(鈴鹿)
春養院・山田哲之
永徳寺(三瀬)檀信徒
正念寺・芝山直示
- [伊賀]
西光寺・服部眞雄
林昌寺(柘植)
- [岐阜]
超勝寺(岐阜)
正明寺・村上明達
光堂寺・高木清巖
円心寺・松壽基道
高福寺・大西泰裕
安養寺(赤坂)
大運寺・大橋高明
- [石川]
念西寺・伴田良観
大円寺(犀川)
玄門寺(浅野川)
心蓮社(浅野川)
心蓮社(浅野川)檀信徒
花岡宏志
西川和枝
寿経寺(浅野川)
天徳寺(能登)
- [福井]
西光寺(坂井)
善導寺・大門俊正
正覚寺(武生北)
松岸寺・花木信徹
養福寺(敦賀東)
慶林院・加藤秀雄
西福寺・芳賀信浄
- [滋賀]
正福寺・関 正見
浄福寺(蒲生第二)檀信徒
光明院・深尾光伸
念佛寺・建本賢治
溪蓮寺(甲賀)
大徳寺・蓮見昌之
称名寺・松尾円澄
称名寺・北條憲雄
称名寺(甲賀)檀信徒
今元 右
善願寺・山尾康雄
法蔵寺・溪 逸郎
雲住寺・井野泰雄
西念寺(大津)
福領寺(大津)
龍音寺・松溪貞照
林照寺・中川隆昭
- [京都]
檀王法林寺(鴨川)

うちのお寺から

ボ

ランティア

⑤

● 三帰会会長・大阪教区心光寺 山名俊光 師



平成14年9月10日に、大阪の一心寺三千仏堂で「仏教者による平和誓願の集い」を開催しました。アメリカの同時多発テロ一周年を機に、もう一度、現代における仏教の意味、お念仏の教えを伝える場としよう心がけました。

当日は夜の開催にもかかわらず、僧俗150名が参加、第

1部を主催の三帰会(大阪教区大江組の若手有志の会)の僧侶による音楽法要、第2部に

は佛教学の藤本浄彦教授の講演を行いました。また、参加者一人一人が、お堂の周囲に設けられた灯籠に献灯、世界中のテロや紛争の根絶を願いました。

当日会場で、聖日献金のご協力を呼びかけ、みなさんから寄せられた募金67,473円は、すべて浄平協に送らせていただきました。献金を通して、少しでも世界平和の実現に役立てていただければ幸いです。一ヶ寺でできることには限りがありますが、これからも組寺の仲間と協力しながら、じっくりと献金活動を続けていきたいものです。

- 西園寺(鴨川)
- 上善寺(鴨川)
- 西住院・戸川隆博
- 西住院・戸川克彦
- 照臨院・近藤徹稱
- 心光院(鴨川)
- 長香寺・中井真孝
- 常光庵(南城)
- 九品寺・本部圓靜
- 念佛寺・廣兼和正
- 念佛寺(京極)
- 安祥院(京極)
- 西向寺(一条)
- 報恩寺・大橋憲宏
- 西光院(南城)
- 報土寺(一条)
- 地藏院・伊藤史郎
- 松原寺・水谷正示
- 浄円寺・水谷浩之
- 常安寺・田村信昭
- 西休寺(伏見)
- 蓮乗寺・吉田賢璋
- 栄運院(伏見)
- 光月院(伏見)
- 西楽寺・眞泉善章
- 来迎寺・藤原弘宣
- 西運寺・小坂井淳弘
- 三縁寺・水谷幸正
- 安養院(洛南)檀信徒
- 長圓寺・堀 芳照
- 光照寺・山本念峰
- 西念寺(宇治)
- 圓福寺(八幡)
- 浄安寺(八幡)
- 妙蓮寺・原 禮月
- 薬師寺(相楽)
- 常楽寺(南城)
- 地藏寺(南城)
- 龍福寺(南城)
- 西福寺・石津幸次
- 念佛寺(南城)
- 極楽寺(亀岡)
- 直指庵・小田芳隆
- 佛教学部教青年会

- 阿弥陀寺(野上)檀信徒
- 極楽寺・小上泰信
- 岩間寺(有田)
- 吉祥寺・中谷峰英
- 法善寺・岡本 淨
- 九品寺(日高)
- 萬福寺(日高)
- 宝重寺(日高)
- 西蓮寺・松本眞紀
- 本覚寺(西牟婁)

- [大阪]
- 法善寺(相阪)
 - 源正寺・中村暢時
 - 天暁院・松川純康
 - 観音寺(相阪)
 - 白雲寺・秋元貫成
 - 大安寺・吉田宏英
 - 長安寺・佐藤昌宏
 - 佛心寺・農野寛融
 - 佛心寺(東清堀)檀信徒
 - 中村梅子
 - 楞嚴寺・田尻玄龍
 - 法明寺(東清堀)
 - 法界寺・服部寛雄
 - 提法寺(天満)
 - 源光寺(天満)
 - 専修寺(天満)
 - 阿弥陀院・伊藤眞教
 - 西王寺(東摂)
 - 興楽寺・川久保知廣
 - 地福寺(東摂)
 - 浄国寺・秦 心隆
 - 大鏡寺(北摂)檀信徒
 - 法蔵寺・富永嘉元
 - 朝日寺(北摂)
 - 正覚寺・井上孝雄
 - 阿弥陀寺・伊藤正順
 - 西方寺(第二河南)
 - 常安寺(堺)
 - 大阿弥陀経寺・山田俊明
 - 正明寺・森 俊夫
 - 専称寺・丹農秀知
 - 正念寺(泉北)
 - 専稱寺(泉北)
 - 生福寺・石原成明
 - 泉大津市浄土宗寺院
 - 托鉢奉仕団
 - 心福寺(泉北)
 - 西福寺(泉北)
 - 西向寺(泉北)
 - 大福寺(泉北)
 - 浄国寺(泉南)
 - 勝楽寺・前原英彦
 - 十念寺・山下仙治
 - 西田元浄(一般)

- [兵庫]
- 福德寺(神戸)
- 宝地院(神戸)
- 長伝寺・安部哲脩
- 報身寺・静永峯雲
- 中勝寺・藤井大俊
- 甘露寺・三枝樹隆善
- 法蔵寺・伊藤真澄
- 西福寺(摂陽東)
- 西方寺・木村宗司
- 大林寺・木下達雄
- 法性寺・田中元孝
- 光明寺(有馬)
- 碩安寺(有馬)
- 光照寺・市野正善
- 遍照寺(明石)
- 広度寺(播磨西)
- 蓮生寺(但馬東)
- 法典寺(但馬東)
- 西念寺・中川敦念
- 称名寺・赤尾敏弘

- [鳥取]
- 真教寺・永井賢晃
- 迎接院(伯耆)

- [出雲]
- 長伝寺・西田弘文
- 西方寺(江東)
- 源正寺(江東)
- 莊楽寺(隠岐)

- [石見]
- 福城寺(大田)華頂婦人会
- 福城寺・梶谷正道
- 藤長寺(江津)
- 藤長寺・三上行紀
- 西方寺・近江隆寛
- 浄国寺・福田照道
- 妙雲寺・本田行憲
- 光明寺(益田)

- [岡山]
- 清雲寺(総社)
- 円常寺(備前)檀信徒

- [広島]
- 西光寺(南部)
- 長性院(西部)

- [山口]
- 法真寺(周東第一)
- 等覚院・松田等照
- 寿原寺・林 弘道
- 専光寺(周央)
- 宗壽院(周央)檀信徒

- 宗壽院(周央)檀信徒
- 末成宏道
- 九品寺・南 寛正
- 吉祥寺(長東第一)
- 西念寺(長東第二)
- 法専寺(長東第二)
- 善念寺(長西)檀信徒
- 慈しみの会
- 浄土寺(長西)
- 難波信定(一般)

- [愛媛]
- 遍照寺・渡辺俊雄
- 靈巖寺(松山)
- 阿弥陀寺・田村恭雄
- 金光寺・市川乗地

- [福岡]
- 圓應寺(小倉)
- 生往寺・安永宏史
- 来迎寺・本原信道
- 安養寺・塩次一行
- 阿弥陀寺(東筑)
- 明願寺(東筑)
- 報恩寺(東筑)
- 随専寺(鞍手)
- 円宗寺(鞍手)
- 西念寺・梶原俊孝
- 珠林寺(粕屋)
- 成楽寺(粕屋)
- 成道寺・佐藤隆昭
- 成道寺・佐藤賢隆
- 成道寺・佐藤宗昭
- 正覚寺・行正明弘
- 阿弥陀寺・洲上克輝
- 見性寺・寺崎龍海
- 善福寺(筑後第一)
- 善福寺・花田道彦
- 一念寺・丸山宏龍
- 法泉寺・安藤雅寛
- 法泉寺・安藤知順
- 引接寺(筑後第三)
- 瑞松院(筑後第三)
- 西福寺・井上正俊

- 田上寺(長崎)
- 善隣寺・辻本光信
- 立願寺(平戸)檀信徒
- 善福寺・森岡諱雄
- 宗念寺(五島)
- 九品院(大諫)
- 九品院(大諫)檀信徒
- 鐘ヶ江京子
- 塩野八重子
- 田畑末見
- 志岐泰子
- 高津トシ
- 中野タツエ
- 柴田ツヤ子
- 嶋田数衛
- 八谷展弘
- 福田 静
- 内川松子
- 富永ヤス子
- 太田節子
- 吉田 甫
- 浦川定雄
- 佐々木大野
- 児玉健三
- 手柴栄子
- 丸尾 茂
- 塩野八重子
- 北村眞直
- 柿本憲吾
- 岩田登志子
- 柴田司朗
- 森山和枝
- 柿本憲吾
- 池田貞義
- 深堀 雄
- 中村實子
- 岡 和彦
- 松尾寛子

- [熊本]
- 来迎寺・濱田公徳

- [大分]
- 海岸寺・阿部泰明
- 浄運寺・吉田慧日

- [三州]
- 円光寺(宮崎)
- 圓福寺(宮崎)

- [その他]
- 浄土宗寺院婦人会
- 代表者研修会参加者

※寺院名の後ろの()内は組名です。

- [奈良]
- 念声寺・上野雄宏
- 定願寺・岡崎誓順
- 西光院(第八)
- 九品寺・清水良彦
- 三縁寺・植平正純
- 龍泉寺・古橋順啓
- 桜井寺(第十二)
- [和歌山]
- 知足寺(和歌山)
- 常念寺・松尾昭道

浄平協企画

カンボジア
スタディーツアー
参加者募集中

カンボジアの保健、医療事情、文化——
そして、私たちの支援するNGO団体「シェア」の
活動を実際に見聞しませんか……

平成9年より、わが浄平協は世界平和を願いに「聖献金募金運動」を展開し、その浄財をもとに世界各地で活動するNGO団体に支援を行ってまいりましたが、かねてより支援先の視察をとの声が多くあり、今回その実現の第一弾として、「カンボジア・スタ

ディーツアー」を企画・実施の運びとなりました。
カンボジアでは、私たちが支援するNGO団体「シェア＝国際保健協力市民の会」がプロジェクトを進行しており、今回のツアーではその具体的な内容をはじめ国際協力の現場をつぶさに学ばせていただく予定です。
この機会にぜひともご参加いただき、世界平和推進の道をさらにご邁進いただくことをご祈念いたします。



[カンボジア・スタディーツアー開催概要]

1. 開催期間 平成15年2月17日(月)～22日(土)〈6日間〉 ※行程の詳細は別紙開催要項を参照
2. 募集人員 15名(最少催行人員5名)
3. 参加資格 浄土宗教師、寺族、檀信徒、聖日献金協力者
4. 参加費用 198,000円
※関西国際空港発の料金です
※参加者が9名以下の場合、追加代金5,000円が必要です。
※行程中、お一人部屋をご希望の場合は、追加費用が必要です。
※国内線乗りつぎについては、下記旅行業社までお問合せください。
5. 申込方法 別紙の参加申込書に必要事項をご記入の上、申込金30,000円を添えて、現金書留にて浄土宗平和推進協議会までお申し込みください。
6. 申込締切 平成15年1月15日(火) ※但し、定員満了の場合はその時点で締め切り
7. 付記 ○ここでのご案内はあくまでも概要ですので、詳細は別紙の開催要項を必ずご確認ください。
○ツアーの申込及び全般に関するお問合せは「浄土宗平和推進協議会」までおたずねください(連絡先は別記)。
○渡航手続き他のお問合せは旅行取扱いの「ピーエス観光」まで。
TEL 03-3502-4041/FAX 03-3502-5416
担当=花嶋政夫・中山悦子

聖日献金は1口3000円から、何口でも受け付けています。

専用の振替用紙をご利用いただくか、郵便振替口座「01020-5-16369 浄土宗平和推進協議会」までご送金ください。

また聖日献金をご理解いただくためのパンフレットもありますので、右記宛ご請求ください。
あなたの温かいご協力をお待ちしております。

[連絡先]
浄土宗
平和推進協議会事務局

京都市東山区林下町400-8
浄土宗宗務庁社会局内
TEL 075-525-0482

